

【児童・地域の実態】

- ・欠席が少ない。また、給食残量も少ない。
- ・素直な態度で真面目に取り組もうとする児童が多い。
- ・安定した家庭環境であり、学校に概ね協力的である。
- ・基礎、基本となる学習内容の定着について学年差や個人差が大きい。
- ・対人関係をうまくつけない児童がいる。
- ・自信をもたせ、ねばり強くやりぬくたくましさや主体性、表現力を培いたい。

【学校の教育課題】

「閉校」に向けて今までの活動を集大成し締めくくる

すすんで学び、仲間と共に高め合う学校づくり

- 自分からすすんで学び、確かな学力を身に付ける
 - ・将来社会に生きて働く基礎・基本の内容を確実に習得させる。そして、思考、判断、表現する活動を通してそれらを活用する力を身につける。
- 他を思いやり、共に高まろうとする人間関係を築く
 - ・社会で生きる上で一番大切な思いやりの心を育む。そして、温かい人間関係を築き、共に高まろうとする心や力を育成する。
- やりぬくことで、自信と自分や地域への誇りをもたせる
 - ・やりぬく体験をさせることで、「できる」喜びを味わわせ、自信をもたせる。そして、自分や地域への誇りにつながる活動を推進する。

【県・市の方針と重点】

- 県：
◇ふるさとに誇りをもち、「清流の国さく」を担う子どもたちの育成
・ふるさと教育の充実
・ICT環境の整備と活用
- 市：
◇学び、活かす市民
『よりよいひとりだち』
○生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成
・機能する組織・身に付くまで
・面倒見のよい先生

【学校の教育目標】

すすんで学ぶ子 高め合う子 やりぬく子

【本年度の重点】

児童に適切な目標をもたせ、「できるようになる」ための学び方や方法、努力や協力の仕方を理解させる。そして、児童が“できるようになる”まで根気よく指導し、できる喜びを味わわせ、自信をもたせる。

【実現するための4つの柱】

(合言葉)自分で・仲間と「できるようになる」

自分からすすんで学ぶ子

基礎・基本の確実な習得と、それを活用する力の向上を図ります

- ・ICTの効果的な活用
- ・一点突破の取組による学力の向上
- ・表現活動・読書活動の充実
- ・意図的・計画的な家庭学習

仲間と共に高め合う子

様々な活動の中で他を思いやり、共に高まろうとする人間関係を築きます

- ・居場所のある学級づくり
- ・道徳教育の充実
- ・3つのじまん(あいさつ・せいとん・思いやり)
- ・インクルーシブ教育の推進

最後までやりぬく子

自分をよく知り、他者とともにやりぬくたくましさ身に付けます

- ・朝運動や体育的行事の指導の充実
- ・係活動や掃除の充実
- ・感染症予防や生活習慣への働きかけ
- ・命の教育の推進

閉校に向けて学校の宝物づくり

閉校を意識しながら学校生活において宝物づくり(個人・学級)を推進します



地域とともにある学校

家庭・地域とつながり、その教育力を大切にします

- ・地域・PTA行事への積極的な参画
- ・新福岡小学校統合に向けた準備・調整
- ・保小、中学校区との連携の充実
- ・学校の教育活動の戦略的な公開・広報

【学校運営の2つの土台】

(評価・改善)

- ・2ヶ月をタームとし、重点項目について指導部会で評価並びに次の行動目標の具体を設定する。
- ・年2回、自己評価を行い、本全体構想の見直しを図っていく。

元気で笑顔の教職員

積極的に学び合い、相談して全職員の資質向上をめざします

- ・授業研究会・現職研修の充実
- ・共通理解の徹底と共通行動の重視
- ・日常的な連絡・相談の充実
- ・教育活動の効率化と働き方改革の推進

学校の教育資源

【協力・連携する諸機関・団体】

- ・福岡地区各校・園 福岡総合事務所 公民館
- ・市諸機関・PTA 社会福祉協議会 麻の葉学園
- ・下野区・田瀬区 ニッ森ふれあいクラブ 学童クラブ 等

【周りの環境】

- ・茶畑 花壇
- ・郷土の史跡
- ・付知川や松林 等

【職員】

- ・職員間の高い調和、互いを尊重する姿勢
- ・自らの力量の向上に取り組む意識の高さ
- ・誠実で温かみのある人柄